

2018年 会長・社長 新年あいさつ

新年おめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。
東京メトロポリタンテレビジョン株式会社（TOKYO MX）は1月5日（金）に「新年祝賀式」を開き、後藤会長、河内社長が社員にそれぞれ次のように挨拶しました。

【挨拶】後藤 亘 代表取締役会長

『挑戦すること無くして未来はありえない』

あけましておめでとうございます。

昨年はいろいろありましたが、わが社にとって敢えて当社の今後のために前向きな発想をするのであれば、大変良い機会を与えて頂いたと思っております。特に、BPOの一件は“当社の審査体制が不十分であってその責任は大変大きい”ということではありますが、その責任は会社としての適切な教育、指導不足によるものであります。当社は最後発局として何か特色のある個性的表現をしようとして、意識的に抑制することを避け、自由奔放に番組創りに邁進して来たあまり、特色のあること、尖っていること、などは良いことだという価値観が根づいてしまいました。それは、大変結構なことでもあります。しかし、放送事業の社会性について、もっと議論すべきであったと思っております。あらためて激しい変化の中での放送、特に当社での放送のあり方を追求していかなければならないと考えております。そのあり方を考え、実践していくことは大変エキサイティングで魅力的なことだと思いますので、皆さんと共に新時代のテレビを追求して参りたいと存じます。

当社は、まだまだ発展する可能性があります。挑戦すること無くして当社の未来はありえません。当然乍ら市場性をしっかり考察し、下記事業を中心としながら、ネバリ強く新しいマーケットを創りだしてゆく必要があります。

- (1) エムキャスの完成型の追求
- (2) ハイブリッドキャストにて4K番組の配信
- (3) 放送周辺事業の拡大:ライブ時代の事業企画と放送連動
- (4) アジア地区を始めとする国際関連事業などの拡大・強化

そして最後にAI時代になればなるほど“人の心”にささる番組コンテンツ開発が重要であり、心の響きを大切にコンテンツを創造してまいりたいと思っております。

2025年にはテレビ放送界の体制に大きな変化が起ってくると考えられます。それは2020年のオリンピック終了と共にこの激変の胎動が始まると考えられます。その時こそ“心の響き”が生き残れるテーマだと信じております。

【挨拶】 河内 功 代表取締役社長

明けましておめでとうございます。

まず、年末年始の特番・ニュース・番組・イベント・災害情報等、編成・制作・報道・事業・技術をはじめ総力をあげた体制で、気迫とハートを感じさせる仕上がりで、大変ご苦勞様でした。

皆さんご承知の通り、そして既に再発防止に向けて、担当部局、関係部局を中心に取り組んでもらって居りますが、昨年 TOKYO MX は、放送局として開局以来の重要な課題に直面した年でありました。

改めて、我々は、役職員一同放送局としての使命を再確認し、再発防止策を確実に実践することによって、従来から目標としてきた信頼される放送局を目指して引き続き全社一丸となって努力を続けていきたいと思えます。

本日は、私から、次の3点を申し上げたい。

先ず第1に、「再発防止策の徹底」であります。

既に着手済みで、取組みに注力中ではありますが、大事なことは着実に実践を継続していくことでもあります。

第2に「変化への対応」であります。

ネット環境の飛躍的な伸びにより、放送業界をとりまく経営環境は年々厳しさを増して居ります。かつて、テレビが進出してきたとき映画業界は厳しい状況に置かれ、この変化に対応し、劇場以外のソフトの展開場所を見出し、それぞれに対応（適合）した作品の制作へと、いわば、多角的展開型への業態変化に成功した会社は残り、他は淘汰されました。変化への対応力の有無が生き残りの条件であります。

私は、ネット時代においてもテレビ放送の基本的役割と存在価値は不変と考えますが、ネットと融合し、活用した利便性と付加価値と信用力を身に着けた新時代のテレビ放送に向け変革し脱皮していくことが不可欠であることは明確であります。これからの経営戦略・事業計画・新たな分野へのチャレンジ等が不可欠であります。

第3に「質の改善」であります。先日の開局22周年時に申し上げたことではありますが、番組は当然であります。業務や運営面の全てにわたり、編成、制作、営業、アニメ、通販、事業、技術、内部管理部門を含めたすべてのセレクションにおいて、今までのやり方を見直し、選択と集中を図り、変化に対応できるMXの独自性は何か、MXしかできないことは何かを見出していくことが当社のこれからの道であると考えます。「質の改善」を着実に実現することにより、新たなチャレンジをするために不可欠な堅実で安定した経営基盤の構築につながるものと確信します。

皆さん、先は、足許を謙虚にみつめ、基礎固めをしながら、なんとか新時代のMXを切り開いていく気概をもって一丸となって前進していきましょう。

以上